

# 脳卒中の治療・入院加療に関する臨床研究の参加協力者募集のための診療録の事前閲覧のお願い

研究責任者 所属 東京湾岸リハビリテーション病院  
リハビリテーション部理学療法科  
職名 理学療法士  
氏名 井上 靖悟  
連絡先電話番号 047-453-9000

実務責任者 所属 東京湾岸リハビリテーション病院  
リハビリテーション部理学療法科  
職名 理学療法科  
氏名 井上 靖悟  
連絡先電話番号 047-453-9000

当院では、上記の臨床研究を、当院倫理審査会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。

それにあたり、当院に入院されている方において、患者さんの診療録等を事前に確認させていただいております。そのうえで、以下の「1. 対象となる方」の基準に該当される方においては、担当者より本研究のご参加についてのご希望をお伺いさせていただくことがあります。

ご参加を希望されない場合は、その際に断っていただいて構いません。最終的な研究の参加は、文書による説明および同意によってなされます。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本通知はご参加の前段階の診療録の閲覧の周知を目的としております。事前の閲覧を望まれない患者さんは、その旨を「7. お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいようお願いいたします。

## 1 診療録の事前閲覧の対象となる方および本研究の対象となる方

西暦2018年9月1日より、東京湾岸リハビリテーション病院にて脳卒中のリハビリテーション治療のため入院した方を対象に診療録の事前閲覧をさせていただきます。

その中で、本研究では以下の基準に該当する方を対象に参加を募らせていただいております。

## 2 研究課題名

承認番号 219-2

研究課題名

回復期脳卒中患者の自己および他者評価による転倒関連自己効力感の乖離と転倒との関係

## 3 研究実施機関

東京湾岸リハビリテーション病院

研究実施機関

研究責任者

〈主機関〉

東京湾岸リハビリテーション病院

井上靖悟，大高洋平，菅澤昌史

〈協力機関〉

国際医療福祉大学

堀本ゆかり

## 4 本研究の意義，目的，方法

脳卒中患者様の入院中の転倒発生割合は14～25%あり、転倒により入院期間の延長や重篤な場合には骨折につながることも報告されています。また、外傷がなくとも転倒恐怖により日常生活動作に支障を来すことも報告されており、脳卒中患者様にとって転倒予防は重要な課題であります。

転倒リスクの因子には、歩行やバランス能力などに加え、転倒関連自己効力感が関与することも示されています。ご自身の主観である転倒関連自己効力感は、しばしばセラピスト視点による転倒関連自己効力感と乖離が生じていることを経験します。

本研究の目的は、セラピストが評価する転倒関連自己効力感の信頼性と妥当性を検討し、さらには回復過程にある患者様の主観による転倒関連自己効力感との差が、歩行能力や転倒と関連するか検証することにあります。この調査は、歩行安静度の検討や転倒予防の一助となる可能性があり、医療安全に関するシステム構築につながることを期待されます。

## 5 本研究に参加された場合に協力をお願いする内容

本研究では、脳卒中片麻痺患者もしくは大腿骨頸部骨折患者で一側性の障害である方、入院中に歩行が可能となり入院時より経時的に転倒関連自己効力感の評価が可能であった方、20歳以上の方を対象としております。そのため、研究を実施する前に、患者様が上記の状態であるかどうかを判断するため、事前に診療録を事前閲覧させていただくことをお願いしております。

## 6 本研究の実施期間

西暦 2019年4月8日～2021年4月7日

## 7 お問い合わせ

本研究に関する質問、および診療録の事前の閲覧を望まれない患者様は、以下の連絡先にご連絡をお願いします。

- ・対応者の氏名：井上 靖悟（いのうえ せいご）
- ・所属：東京湾岸リハビリテーション病院 リハビリテーション部

- ・お問い合わせ方法：お電話, FAX
- ・連絡先：TEL 047-453-9010, FAX 047-453-9002
- ・対応可能な時間帯：12:00～12:50, 17:00～17:30

\*対応者が不在の場合には、お手数ではございますが、改めてのご連絡をいただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

以上